「持続可能な社会の創り手」を育む！

福山中・高等学校 探究 全体計画（1枚シート）

1 学校のビジョン（教育方針）

❶教育理念

ESD（持続可能な開発のための教育）を通じて、生徒一人一人が持つ潜在的な独創性を引き出し、溢れる知性とチャレンジ精神をエネルギーに、持続可能な社会を創造するために、グローカルに活躍する人間を育成する。

❷教育目標

旺盛な「探究心」、豊かな「創造力」、柔軟な「思考力」を育み、「課題の解決」に向け「粘り強く挑戦」する生徒を育成する。

（本校SCHOOL GUIDEより）

2 総合的な探究の時間の目標

地域課題や国際課題などの横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく資質・能力を育成する（→持続可能な社会の創り手の育成）。

3 地域との連携

●福山市立大学、アジア・ユネスコ文化センター（ACCU）、ユネスコ等の専門機関

●福山市役所、商工会議所、地元企業、団体等と幅広い連携

4 育成したい資質・能力

❶創造力　❷思考力

❸コミュニケーション力

❹探究心　❺協働

❻チャレンジ精神

5 探究とは？（本校の定義）

❶定義

正解が一つではない問いに対して、試行錯誤を重ねながら、納得できる解答を導き出す試み（ポイント：「試行錯誤」）

❷探究の目的・意義

探究学習を通じて「課題発見・解決力＊」を身につけること。

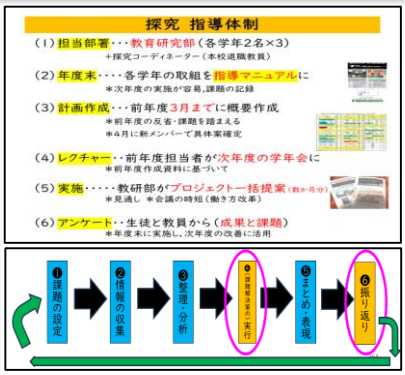
人生や社会を良くするのに役立ち、人生と社会の創り手を目指す。

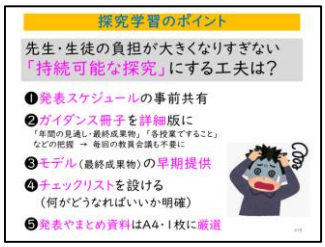
＊「課題発見・解決力」：答えが一つではない問題に直面した時、本質的な問題点を特定し、課題を明確化し、他者と協働しながら解決策を実行する力。この力を身につけることで、困難や社会的課題に対して、主体的に取り組む能力を獲得できる。

❸本校における「探究プロセス」

課題解決策の「実行（検証）・社会実装」と「振り返り」の重視　＊右図参照➡

❹「持続可能な探究」を目指す（やりすぎ探究／放任探究でなく）。



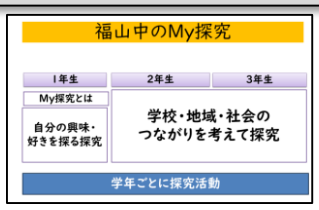


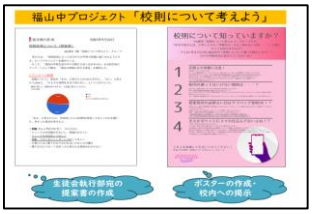
6 各学年（中1～高3）の取組

中学（My探究）

●中1：興味・関心を探る探究

●中2・3：学校・地域・社会のつながりを考えて探究



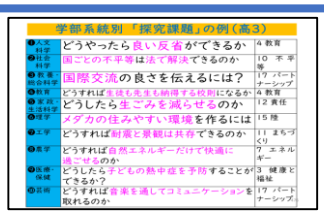


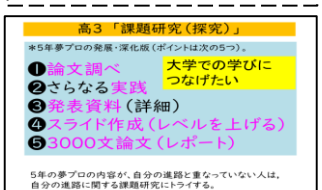
高1（地元探究）

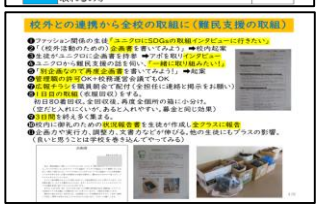
地元企業や団体のSDGsに関する取組を研究し、提供された課題の解決方法を探る

高3（課題研究）

希望進路に関連する、興味・関心のある学部系統における課題を設定し、課題の解決に貢献する







高2（夢プロ）

自分の夢や興味・関心、SDGsに応じた問題から課題を設定し、実行・検証する

7 探究と各教科をつなぎ資質・能力を育成【STEAM教育＊を意識】

●目的・取組の違い （＊教科の学びを実社会の課題解決に活かす教科横断的な教育）

・総合的な探究：実社会や実生活の複雑な問題から、課題を発見し解決する

・各教科の探究：教科や科目の理解を深める

●資質・能力を育むために探究と教科をつなげる2つのアプローチ

❶探究を軸に、教科横断で内容を補強（カリキュラムマネジメント）

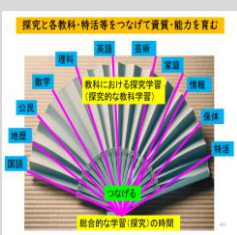
例：「地域活性化」の探究を各教科で支援（複数教科プロジェクト）

●地歴：現地調査、資料収集　●数学：統計・データ整理

●国語：説得力のある文章　●英語：制作物の英語表現

❷教科での探究的な学習（探究的な教科学習）　➡2つのポイント：❶教科書だけでなく、学習内容を生活や社会と結び付ける（実社会との連携）

例：（英語）ユニバーサルデザインの単元で、街の要改善箇所をプレゼン　❷正解の暗記・理解中心から、問題解決型学習へ（単元に関する社会課題等）



探究的な教科学習（英語ミニプロジェクト）の例

単元	ミニプロジェクトの概要
ユニバーサルデザイン	街を探索し、バリアフリーの改善が必要な場所を撮影し、改善アイデアをプレゼンする。（社会を変える可能性）
バイオミミクリー	自然からヒントを得た発明を考案し、それがどう役立つかをプレゼンする。（アイデアが未来を変える可能性）
ジェンダーギャップ	実際の日常生活や社会で感じるジェンダーギャップ（性別格差）と実現可能な解決策をプレゼンする。（平等な社会）
ナッジ	身近な社会や環境問題を解決する小さなナッジを考えるどのような影響を与えるかプレゼンする。（社会変革の一歩）